

# 緩和策と適応策

## 地域での融合に向けて

2024年 1月 11日 (木) 13:30 ~ 16:40  
@ ウィンクあいち 11階 1101会議室

参加  
無料

「気候危機」と言われるようになった現在、深刻な気象災害が多発しています。今後も大雨や台風のリスク増加が懸念されており、私たちは激甚化する災害の脅威にさらされています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、我が国は国内の温室効果ガス排出「実質ゼロ」を実現すべく、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散型社会」の構築へと動き出しました。

地球温暖化対策の「緩和」と「適応」を融合した地域づくりについて、自治体として、推進員として、「いま」そして「これから」何をすべきか、何ができるかを考えます。

### プログラム

- 挨拶 平野 淳一（愛知県環境調査センター 研究監）
- 愛知県気候変動適応センターの取組  
高井 賢治（愛知県環境調査センター 企画情報部長）

### 第1部 基調講演

- 「気象災害と地球温暖化 ～台風と豪雨について～」  
坪木 和久 氏（名古屋大学宇宙地球環境研究所  
／横浜国立大学台風科学技術研究センター 教授）

### 第2部 話題提供

1. 「緩和策と適応策の融合とは」  
曾山 信雄 氏（環境省中部地方環境事務所環境対策課 課長）
2. 「地域における緩和と適応の取組について ～愛知県豊田市の事例」  
塩谷 誠 氏（豊田市環境部環境政策課 課長）
3. 「強靱で持続可能なまちづくり ～福井県坂井市の取組」  
北川 直規 氏（坂井市生活環境部市民協働課 課長）

### 第3部 トークセッション 「緩和策と適応策が融合した地域づくりを考える」

コメンテーター：坪木 和久 氏、曾山 信雄 氏、塩谷 誠 氏、北川 直規 氏  
コーディネーター：原 理史（環境省 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター）